

闘いはいまから

〇〇闘争へみんなの決意 職場の実態はおそろしい

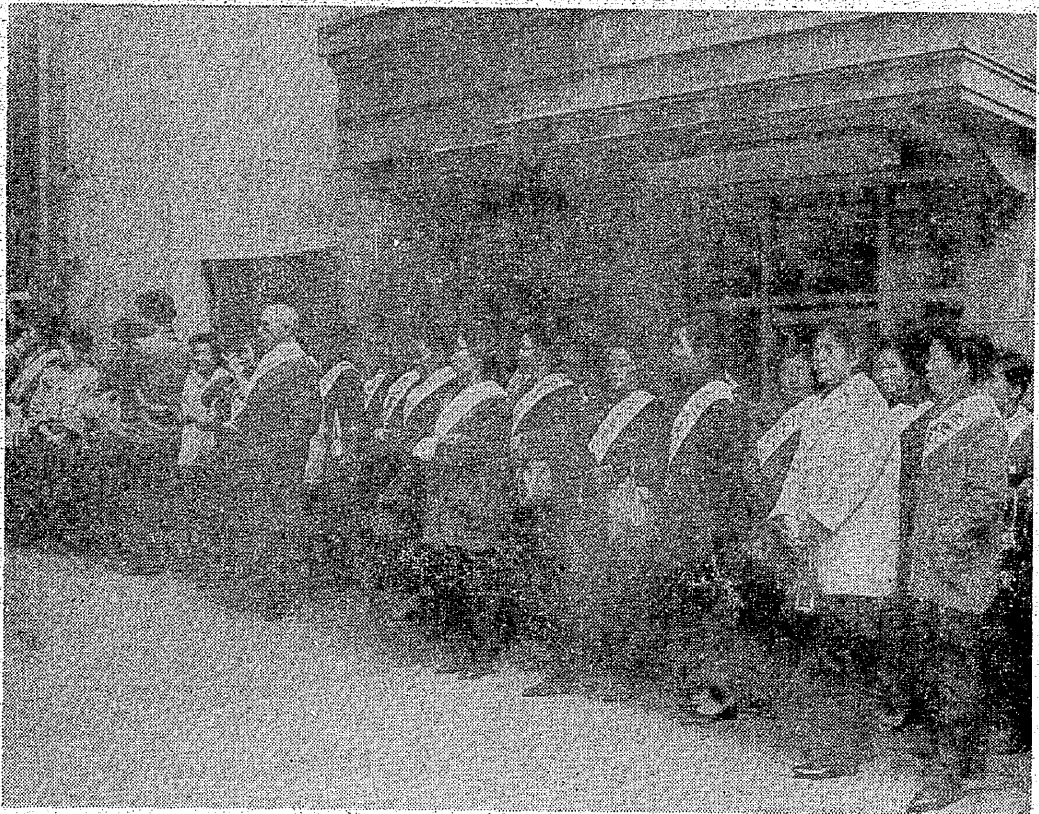
—〇〇闘争と結合させて—

四山 野田 忠義

私自身七月のたかひまでは〇〇闘争が一体どんなものか、バクゼンとしかわかっていなかった。職場の中でも、青婦部の中でも、〇〇問題に対する意見がバラバラで、あせりを感じていた。しかし、その後私の職場をめぐって、あつたに「恐ろしい」と感じた。職場ではよく「気楽に」この調子ではおれの生命は十年もたない」と口をばらばらしているが、みんな心からそう思っているのだらうか。私は本心に恐ろしいと思ふ。この〇〇闘争が保安闘争と結びつかない原因があると思ふ。執行部が炭労や総評との調整に目をうばわれていたとすれば、今後こそ、この点をよく指導してもらいたい。

もつと事実を知ろう
〇〇患者のとりあつかいについて、二・三番に入ることになつた。たかひが来たと思ふ。しかし職場段階で一人ひとりがハラたてきりなら、〇〇闘争は根付ききりと思ふ。

三川鉱で二度にわたる大災害があつて本心に「恐ろしい」と感じた。職場ではよく「気楽に」この調子ではおれの生命は十年もたない」と口をばらばらしているが、みんな心からそう思っているのだらうか。私は本心に恐ろしいと思ふ。この〇〇闘争が保安闘争と結びつかない原因があると思ふ。執行部が炭労や総評との調整に目をうばわれていたとすれば、今後こそ、この点をよく指導してもらいたい。



写真(上)は、中村三池鉱業所長に会わせると要求し、本所の裏門に押しよせた主婦会。だが、会社は門に鉄条網をはつて開かない。(下)は、東京本社のある三井ビル前で倉田社長に面会を求めてがんばる上京団。

たが、政府や会社の態勢はひとつも変っていない。向うの土俵で、モウをとることにするのではないかというところが心配です。

三井が不起訴になった問題や責任追及のたかひもけつして忘れはならない。

そのために、まず一人ひとりが〇〇患者と家族の実態をもつと

患者、遺族との交流

年一回ぐらいではダメ

宮浦 江頭松子さん

きのう地域で組合の情宣を聞きかした。〇〇患者の生活資金のこととは一度たずねてみようと思つたので、よくわかりました。主人たちが印をついたときは、なかなか積極的にはなれません。私たちが、また地域の人たちも

責任だけは追及

他力本願ではダメ

三川池畑 重富さん

私たちがたかひに話し合つて、どうかという事です。もし職場に帰つたとしても、〇〇患者ではなから」ということであつた。どうかという事です。

十月二十七日に市民館で行なわれた「三池の闘争」の劇もみに行きました。あれも組合が本腰を入れた市民のみなさんによびかけアピルをしていくべきです。

総評、炭労の人たちがもう少しなんとかしてくれたいとは思ふ。なりませんが、私たちが他の人たちも熊大で官廳さんたちの姿をみれば、もつとわかつてくると思ふ。まず内部で理解をよめることが第一です。

バッジをほこりに

長船労組「不屈の労作者」

私の書棚



いしも停年 主義となり、三川鉱大爆発と退屈をされて なる四百五十八名の生命が一瞬にして吹っ飛び、八百余葉を聞く、ホッパー決戦を起すにされ た言葉が共通したように出てくる。それは、その時点で「俺は労作者だ」という意識が、自分に植えつけられた大変動期であつたからだろう。また労作者階級として自覚する、か、労作者の要切り者となるかの岐路に立っていたからだろう。

仲間を踏み合ひし、利己主義と出世意欲にかられた裏切り者たちが、会社に思ひ通りの合理化を押しつけさせることになり、そのしわ寄せが保安無視、労働強化、生産第一

「不屈の労作者」と題するこの本は、全造船機械三菱支部長崎造船会が発行した小冊子で、五十円。組合本部にある。(宮浦 平田)

かいがされるなら、再発なき場合不安がこります。しかし私たちが反省としてはあまりにも他力本願だったのでないかという事です。私たちがほんなことがあつたとしても、この大災害をおこし、私たちがこんな体にした三井の責任を追及し抜く闘いを、私たち、いや私自身がおこしていかなければならないとおもいます。

総評や炭労、あるいは三池労組の姿勢や体制にだけたよつて、自分がどうなのか、ということをおわすれ、他力本願になつてくれないかという事を反省します。

私たちが、たとえこんなことになつても、たとえこんなことになつても、三井から〇〇患者になられたら、ついでに忘れずに、〇〇患者でありつづける。こんな身体にしたのは三井だ、